

森からのおくりもの

平成26年 1月

第43号

本年も課題の前進に
向けて創意工夫を

新年あけまして

おめでとうございます。



あらためて昨年を振り返れば、局署等の皆さんには、ふれあいの森等における森づくり活動をはじめ、森林体験活動や森林環境教育、シカ害対策等技術開発、准フォレスター等の育成、緑の募金など幅広くご協力頂きありがとうございました。

進むべき

方向に沿って

今年も局署等には様々な課題がありますが、森林・林業の進むべき方向性については既に示されています。

それらの方向に沿って局署等が連携して創意工夫を凝らしながら日々進んで参りたいと考えますので、本年もご支援・ご協力よろしくお願い致します。

技術普及課一同

「四国森林・林業研究発表会」 1月23日に開催。

平成25年度「四国森林・林業研究発表会」を、平成26年1月23日(木)に局大会議室で開催します。発表課題は局署等から11課題。以下、課題概要。

- ・森林環境教育(2課題)
- ・親水公園の再生
- ・大規模崩壊の実態調査
- ・治山事業調査
- ・剣山南地域の活性化
- ・ノウサギ対策
- ・シカ食害対策(囲いわな等)
- ・造林の低コスト化等(エリートツリー等植栽、シカ食害防止クリップ試験)
- ・皆伐跡地の取扱い
- ・H型集材システム

さらに森林組合等から3課題、県立高校から2課題、研究機関等から5課題、計21課題が発表されます。発表者は、分かりやすく説明する資料等の準備を、また、聴講者は、今後の業務に生かすためにも積極的に質問等もお願いします。

編集後記

2014年が明けました。ウマの年もご愛読をよろしくお願いします。



「ニホンカモシカ」って



ニホンカモシカ(以下、カモシカ)は日本固有種で本州以南に分布。その名前からシカの仲間(シカ科)に間違われることも。実はウシの仲間(ウシ科)。

シカは雄だけが毎年生え替わる角を持つが、カモシカは、雌雄ともに角が有り、角は一生伸び続け、木の年輪のように毎年角輪が。この数から年齢が分かる。雌は出産した年に角輪の間が狭くなることから、出産回数を知ることが。

カモシカと山の中で出会うと、じっとこちらを見つめ、直ぐに逃げようとはしない。これは、自分の縄張りに入ってきた侵入者に対する威嚇行動では。この習性のため狩猟者はカモシカを簡単に捕獲。

また、毛皮や肉質が良いとされたため、昭和初期に絶滅が心配され、1925年に禁猟、1934年に天然記念物、1955年に特別天然記念物に指定。

近年、ニホンジカとの競合が指摘。どこかでカモシカと遭遇、見かけたら一報ください。

(森林総研九州支所九州森と林業100号より)